

マルチガジェットツール

AUTO&OUTDOOR SMART KIT

MK-5S

取扱説明書





目次

- マルチバッテリー p1～p4
- ハンディクリーナー p5～p9
- エアポンプ p10～p13
- LED ライト p14～p16
- ポータブル洗浄機 p17～p21
- リチウムイオン二次電池の取り扱い注意・警告事項 p21～p23
- 保証書 p24

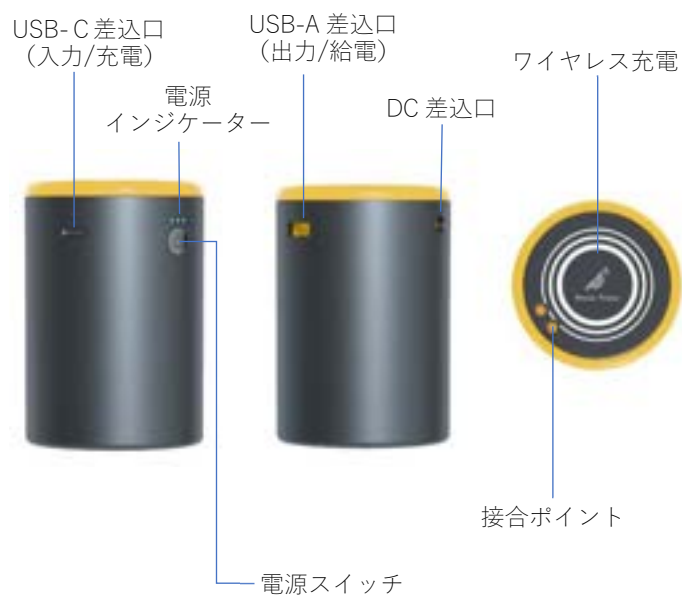
お問い合わせ

株式会社 和コーポレーション			
住所	〒673-0433 兵庫県三木市福井2丁目11-41		
電話	0794-82-6588	FAX	0794-86-7288
HP	https://kaz-info.com/	EC サイト	https://www.kaz-corp.com

仕様

内蔵バッテリー容量	19,200mAh (12V/3200mAh×6)
材質	ABS
出力 (給電)	USB-A:~18W、5V/3.6A、9V/2A、12V/1.5A ワイヤレス充電: ~15W、5V/3A DC 出力: 12V/8A
入力 (充電)	USB-C: ~15W 5V/1A 5V/2.4A 5V/3A
本体サイズ	本体: 直径 65.5×高さ 95mm スマホホルダー: 幅 172×縦 85mm
本体重さ	約 388 g
充電時間	約 5.5 時間
電源表示	充電時 (点滅)、充電完了 (ライト三つ点灯)、使用时 (点灯)
付属品	マルチバッテリー本体、充電ケーブル USB-C to USB-A、スマホホルダー、DC コネクタ
原産国	中国

各部名称



電源の入れ方

1. 電源スイッチを押すと電源が入ります。
2. もう一度押すと電源がオフになります。また、スタンバイ状態が 30 分続くとマルチバッテリーは自動的にシャットダウンします。

3つのインジケータはそれぞれ電池容量の約 33.3%を表します。



充電方法

1. マルチバッテリーへの充電は、付属のケーブルを使用し本体の USB-C ポートに差し込んでください。
2. 付属のケーブルを紛失した場合は弊社までご連絡ください。付属品以外のケーブルを使用する場合、正常に充電が行われない場合があります。
3. 充電中は電源インジケータが点滅します。3つのインジケータが点灯したら充電完了です。



※充電中に本体やケーブルがやや温くなるのは正常です。

※電池が完全に消耗されてから充電することがないよう、電池残量が 5%から 95%の間に充電しておきましょう。長時間使用しないときは、時々充電して、電池の電力をある程度残しておくことで電池の寿命を延ばすことができます。



付属の USB-C to USB-A 充電ケーブル



付属の DC コネクター

USB 出力

1. USB 出力機能は、携帯電話の急速充電に幅広く対応しており、ケーブルと併用して携帯電話など様々なデジタル製品の充電に利用できます。
2. 最大出力は 18W で、 $5V=3.6A$ 、 $9V=2A$ 、 $12V=1.5A$ といった異なる電圧に対応しています。



出力接点

1. マルチバッテリー上部の出力接点は、左がプラス、右がマイナスです。
2. シリーズの様々な製品の電源として使用することができます。
3. 電源を入れるとき、2 つの接点に金属や導電しやすいものを間に置くと、ショートして内部基板が焼けることがありますので、ご注意ください。
4. 製品に電源を供給する際、2 つの接点が熱くなるのは正常な状態です。



保護リング

マルチバッテリーと付属パーツを接続する際には、上部の保護リングを回転して外します。マルチバッテリーと製品が一体となり電源を供給することができます。



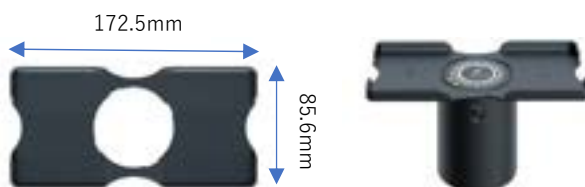
ワイヤレス充電

1. マルチバッテリーはワイヤレス充電機能を搭載していません。
2. 出力は約 15W で、市販のワイヤレス充電機能付き携帯電話のほとんどをサポートすることができます。
3. ワイヤレスで充電する場合、携帯電話やマルチバッテリーの上部が熱くなるのは正常な状態です。



スマホホルダー

スマホホルダーを回転させながら、マルチバッテリー上部に取り付けると、車のカップホルダーに設置してワイヤレス充電が可能です。(スマホホルダーは 6.7 インチまでの全機種に対応しています。)



注意事項

1. 本製品はリチウムイオン電池を内蔵しています。耐熱温度は約 80°Cです。特に炎天下や夏場の車内など、日光直射を避けて必ず付属のバッグの中にしまい、トランクの中もしくは室内に保管してください。
2. 廃棄の際は分解せず各自治体の指示に従ってください。
3. 絶対に分解して電池を取り出さないでください。
4. 電源は必ず付属の充電ケーブルをご使用ください。紛失された際には弊社までご連絡ください。
5. 熱がこもる場所や高温になる環境での充電はしないでください。
6. マルチバッテリーを自分で分解したり修理したりしないでください。
7. マルチバッテリーを落としたり、叩いたり、振ったりしないでください。
8. 雨や水中に沈めたり、長時間の日光に当てたりしないでください。
9. 可燃性、爆発性物質と一緒に保管しないでください。
10. 上記の事項により、電池、基板、チップ、部品などを破損する恐れがあります。
11. お子様の手の届かないところに保管してください。

仕様

材質	本体：ABS、ポリカーボネート樹脂 ブラシ付きノズル：ABS、ナイロン モーター：アルミニウム合金
定格電圧	12V
定格電力	50W
給電方式	マルチバッテリー DC コネクタ接続
連続使用時間	(19,200mAh)満充電で約 80 分 (弱モード)
吸引力	7000Pa
ダストボックス容量	110ml
同梱品	本体、ブラシ付きノズル
サイズ	マルチバッテリー使用時：直径 60×高さ 272 mm 本体のみ：直径 60×高さ 185 mm
重量	マルチバッテリー【19,200mAh】使用時：654g 本体のみ：268g
生産国	中国

各部名称



出力接点

本体をマルチバッテリーに接続すると、マルチバッテリーは出力接点を介して製品に電気を供給します。

※接続の際は、マルチバッテリーの上部の保護リングを回転して外します



ダストケース・フィルター

1. 半透明のダストケースは、回転スナップで本体に接続されています。
2. フィルターは二層構造（外側：金属フィルター、内側：HEPA 製高効率フィルター）で、どちらのフィルターも直接水につけて洗浄することが可能です。



DC 出力・空気出口

1. マルチバッテリーがない場合、またはマルチバッテリーの電源が切れている場合は、付属の DC コネクタで DC ポートに接続することにより、直接クリーナーに電源を供給することができます。
2. クリーナーは本体の両側に排気口があります。本体の両側に排気口があります。



接続タイプ別使用方法

コードレス

1. クリーナーを回転させてマルチバッテリー上部に結合させます。適切に通電するためには、上下のパーツの接点を合わせて接続する必要があります。
2. マルチバッテリーの電源スイッチを押して電源を入れ、クリーナーの電源スイッチを押してクリーナーをスタートさせます。クリーナーのスイッチを再度押すとクリーナーがオフになります。
3. ダストケースを回転させて本体から外し、内部のフィルターを取り外し、ダストケースのゴミを空にします。



有線接続

マルチバッテリーが使用できない場合やマルチバッテリーの電池が切れている場合は、コードレスと同様に付属の DC コネクタでクリーナーの DC ポートに差し込んで給電することが可能です



お手入れ

1. クリーナー本体の内部には、回路基板やモーターなどがあります。水に濡らさないようにしてください。
2. ダストケース、外側の金属フィルター、内側の HEPA フィルターは水洗い可能です。洗浄後は、内部に水滴が入らないように乾燥させてから本体に戻してください。



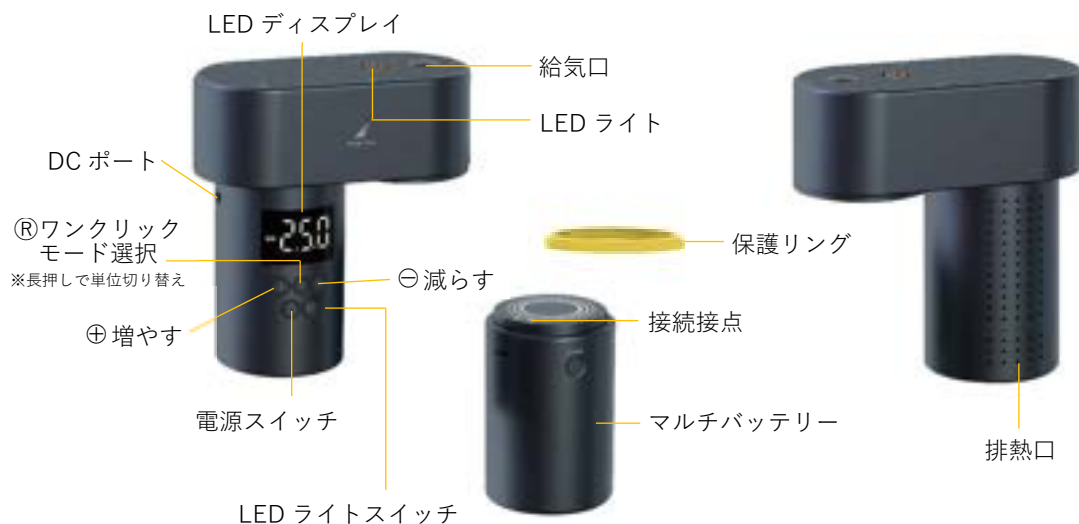
注意事項

1. 本製品は直射日光を避けて必ず付属のバッグの中にしまい、トランクの中もしくは室内に保管してください。
2. 電源は必ず付属のケーブルをご使用ください。紛失された際には弊社までご連絡ください。
3. 異音、異臭がするなど異常を感じたときは、すぐに使用を停止してください。
4. 初めて使用するときは、マルチバッテリーが完全に充電されていることを確認してください。
5. クリーナー内に異常が無いこと、ダストケースとフィルターがしっかりと固定されていることをよく確認し使用してください。
6. 付属品は他社製品と交換しないようにしてください。
7. ダストケースやフィルターが破損した、あるいは部分的に破損した場合は、使用を中止し、弊社まで連絡し交換依頼をしてください。また、タバコの吸殻、紙、木炭などの燃えやすいものを入れたまま使用しないでください。
8. シンナーやベンジンなど、有機溶剤で掃除しないでください。
9. 電気機器からの電力や火花による火災や爆発を避けるため、可燃性、爆発性の物体や液体から常に遠ざけてください。

仕様

材質	本体：ABS 空気チューブ：ナイロン、ABS モーター：アルミニウム合金、ステンレス
定格電圧	12V
定格電力	90W
給電方式	① マルチバッテリー ② DC コネクタ接続
連続使用時間	(19,200mAh)満充電で約 50 分※対象物により異なる
最大空気流量	30L/min
同梱品	本体、空気チューブ、バルブ 5 種 (米式、仏式、英式、ボール用針、浮き輪用)
4 モードの測定範囲	自動車：180kPa~400kPa バイク：160kPa~400kPa 自転車：205kPa~995kPa ボール：25kPa~110kPa
サイズ	本体：幅 140×縦 140×奥行 65 mm 空気チューブ：450mm
重量	本体のみ：約 580 g ※DC コネクタ接続可 マルチバッテリー 【19,200mAh】 使用時：約 968g
生産国	中国

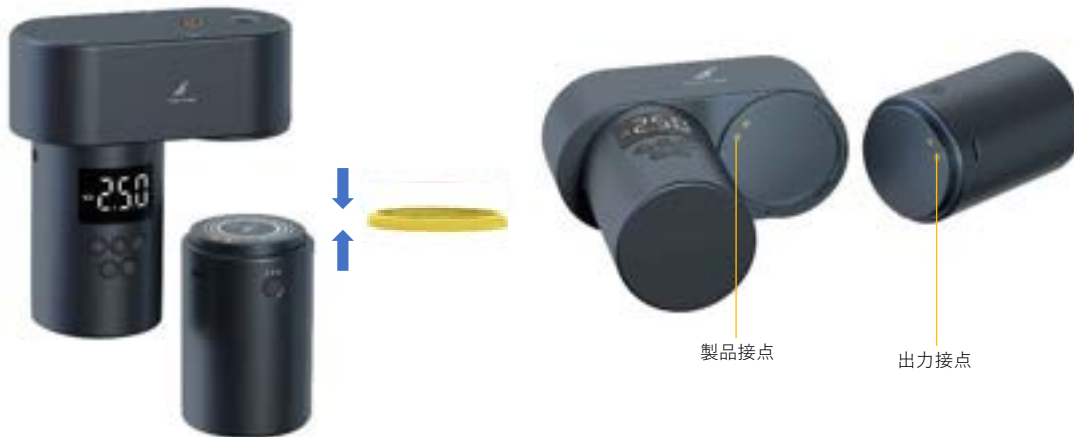
各部名称



接続タイプ別の使用方法

コードレス

1. マルチバッテリーの保護リングを外し、エアポンプとマルチバッテリーの接点が合うように回転させながら接続します。



2. エアポンプの給気口に空気チューブを回転させて接続します。チューブの另一端をタイヤのバルブに接続し、ノズルスイッチを押してロックしてください。
3. エアポンプの電源スイッチを押すと、LEDディスプレイが点灯します。
4. 予め4つのモードにそれぞれデフォルト値が設定されています。Rキーでモードの切り替えができます。



デフォルト値：自動車250kPa、バイク240kPa、自転車310kPa、ボール55kPa



自動車 250kPa

バイク 240kPa

自転車 310kPa

ボール 55kPa

5. モードもしくは数値を設定した後、電源ボタンを押して作動させます。
6. 設定値に達すると、エアポンプは自動的に停止します。
7. 作動時は、本体と充填チューブの両端が熱くなりますので、火傷防止のため、停止後約2分間以上冷ましてから取り外すことをお勧めします。

※高圧で空気入れが行われるため、使用中が大きな音が出ます。



8. 夜間使用時には、夜間照明スイッチを押すことでLEDライトが点灯し作業中の非常用照明となります。
9. エアポンプには5つの変換ノズルが付いていますので、自動車以外の製品に使用する場合それぞれ適切な変換ノズルを選択してください。



変換ノズル



有線接続

1. マルチバッテリーが手元がない、もしくは充電が切れている場合は、付属のDCコネクタを使って直接本体に電源を供給することができます。
2. 付属のケーブルを車のDCコネクタを差し込み、もう一方の端子をエアポンプ本体左側面のDCポートに差し込み、電源を入れます。



注意事項

1. 本製品を長時間使用すると本体と空気チューブの接続口が熱くなることがあります。また、連続 10 分以上の使用はおすすめしません。10 分ごとに約 2 分間本体を冷ましてから使用してください。連続 10 分以上本体を稼働し続ける場合、内部パーツが破損し故障の原因になりますのでご注意ください。
2. エアポンプ作動時本体と充填チューブの両端が熱くなることがあります。
3. 火傷をしないように約 2 分間本体を停止し冷ましてから取り外すことをお勧めします。
4. 製品は直射日光を避けて必ず付属のバッグの中にしまい、トランクの中もしくは室内に保管してください。
5. 電源は必ず付属のケーブルをご使用ください。紛失された際には弊社までご連絡ください。
6. 異音、異臭がするなど異常を感じたときは、すぐに使用を停止してください。
7. 本体に熱がこもらないように排熱口を塞がらないでください。
8. ご使用の際は、可燃物や爆発物を本体に近づけないようにしてください。
9. 本製品を子供に使用させず、子供の手の届かないところに保管し、作業中は子供に近づかせないようにしてください。
10. 本製品を長時間、雨にさらしたり、水中に沈めたりしないでください。

仕様

材質	本体：アルミニウム合金 ランタンカバー：PET
定格電圧	6V
定格電力	10W
給電方式	① マルチバッテリー ② DC コネクタ接続
使用モード	5段階：強、中、弱、点滅、SOS
LED 明るさレベル、 連続稼働時間、 照射距離	高輝度：900 ルーメン、満充電で約 8 時間連続稼働、480m 照射距離 中輝度：380 ルーメン、満充電で約 16 時間連続稼働、230m 照射距離 低輝度：120 ルーメン、満充電で約 22 時間連続稼働、40m 照射距離
同梱品	本体、ランタンカバー
サイズ	マルチバッテリー使用時：直径 60×高さ 190 mm マルチバッテリー使用、ランタンカバー装着時：直径 60×高さ 266 mm
重量	マルチバッテリー 【19,200mAh】 使用時：728g マルチバッテリー 【19,200mAh】 使用、ランタンカバー装着時：774g
生産国	中国

使用方法

1. マルチバッテリーの保護リングを外し、出力接点合うように回転させながらマルチLEDライトと接続します。
2. マルチバッテリーの電源スイッチを押します。電源が入ると3つのライトが点灯します。
3. ライト本体の電源スイッチを押してスポットライト状態にし、製品前部を前方に伸ばすとズームイン、手前に引くとズームアウト、手動で照射距離を調整することができます。



※写真はイメージです

4. 輝度が低いほど消費電流は少なくなり、その分照射時間が延びます。長時間点灯が必要な場合は照射時間を高めるため、中 低輝度モードでの使用をお勧めします。
5. ランタンカバーは製品の上部に直接取り付けることができます。照明ランプのような拡散光モードに変更することができ、約360度の照明効果を提供することが可能です。
6. マルチバッテリーが手元にない、またはマルチバッテリーの充電が切れている場合は、付属のDCコネクタと繋げて電源として使用することができます。



照射モードと伸縮ズームの操作

1. 使用モードには、順番に強、中、弱、フラッシュ、SOSの5つが搭載されています。
2. 電源スイッチを押すと強モードになり、2.5秒以内に押すと次のモードに切り替わります。2.5秒以上経過してから再度押すと電源が切れます。
3. 本体前部を手に持って前方に伸ばすとズームイン、手前に引くとズームアウトし、手で照射距離を調整することができます。



DCポート・三脚の取り付け

1. 製品に付属のDCコネクタで有線接続し、電源供給が可能です。
2. 一般的な1/4インチの取付ネジにも対応しており、お手持ちの三脚やスタンドと組み合わせて使用することも可能です。



凸面鏡とライトカバー

1. 凸面鏡により照射光をより集中させることができます。
2. 本製品の上部にランタンカバーを装着することで、照射光から 360° の拡散光へ切り替えが可能です。



注意事項

1. 本製品は直射日光を避けて必ず付属のバッグの中にしまい、トランクの中もしくは室内に保管してください。
2. 電源は必ず付属のケーブルをご使用ください。紛失された際には弊社までご連絡ください。
3. 異音、異臭がするなど異常を感じたときは、すぐに使用を停止してください。
4. LED ライトは長時間点灯すると本体が熱くなることがあります。火傷を防ぐため直接凸面鏡や本体の先端に触れないでください。
5. 長時間点灯が必要な場合は照射時間を高めるため、中 低輝度モードでの使用をお勧めします。
6. 点灯時は、他人や自分の目に照射しないでください。
7. 使用する際は、可燃性、爆発性のものを避けてください。
8. 雨や水に濡らさないでください。
9. 子供に使用させないでください。

仕様

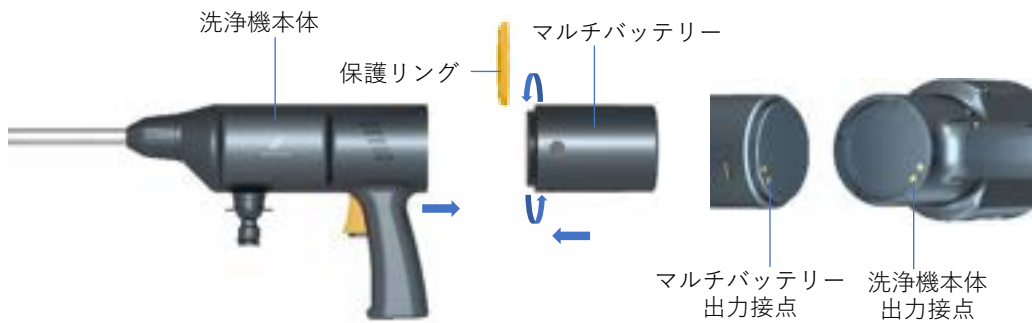
材質	(本体) ABS (延長ランス、モーター) アルミニウム合金、ステンレス (給水ホース、折り畳みバケツ) PVC (可変ノズルアタッチメント) ABS、ステンレス (スプレーボトル、ホースキャップ) ポリプロピレン樹脂
定格電圧	12V
定格電力	110W
給電方式	①マルチバッテリー ②DC コネクター接続
連続使用時間	(19,200mAh)満充電で約 45 分
吐出水圧	1.3MPa
吐出水量	240L/時間
給水温度	0~50°C
同梱品	本体、給水ホース、ホースキャップ、スプレーボトル (洗剤用)、延長ランス、可変ノズルアタッチメント (0°、15°、25°、40°、シャワー)、 ウォーターバッグ(10ℓ)
サイズ	本体+延長ランス：幅 400×縦 160×奥行 87 mm ホースの長さ：5m
重量	本体のみ：約 935 g ※DC コネクター接続使用可 マルチバッテリー 【19,200mAh】 使用時：約 1322 g
生産国	中国

各部名称



コードレスモード

1. マルチバッテリー上部の保護リングを外し、洗浄器本体の接点と合うように回転させて接続します。



2. 延長ランスとホースキャップを回転させながら洗浄器の本体に取り付け、さらに給水ホースをホースキャップに接続します。



3. 給水ホースの末端を付属のバケツに入れて使用してください。

※ホース末端のフィルターは取り外し可能です。

4. 延長ランス先端の伸縮コネクターを手前に引きながら可変ノズルアタッチメントを装着します。

5. マルチバッテリーの電源スイッチを押し、次に洗浄器本体の際に作動スイッチを押すと水が出ます。
- ※可変ノズルアタッチメントを付け替える際には必ず水を止めてから行ってください。



【初回使用時】

給水ホース中の空気抜きを行う必要があります。

- ①すべてセットした状態で、噴射口を地面に向けます。
- ②10~15秒ほど洗浄機本体のボタンを押します。
- ③水が噴射されたら完了です。

その後は普通にご使用いただけます。

有線モード

1. マルチバッテリーが手元がない、またはマルチバッテリーの電池が切れている場合は、付属の DC コネクタと繋げて電源として使用することができます。

2. 本体の DC ポートに付属の DC コネクタを差し込み、ケーブルのシガーソケット側を車のシガーソケットのコネクタに差し込んでください。



洗車の仕方（参考）

<p>1</p>  <p>車の表面を洗浄機の噴射モードでいちど濡らします。</p>	<p>2</p>  <p>泡スプレーボトルに洗剤を入れ製品規定の割合で水を加えてよく振ってください。</p>	<p>3</p>  <p>洗浄機の延長ランスに泡スプレーボトルを接続し車体全体にあわを吹き付けます。</p>
<p>4</p>  <p>スポンジ、柔らかいブラシ、洗車モップなどで車体を磨きます</p>	<p>5</p>  <p>再度、洗浄機の噴射モードで洗車します。</p>	<p>6</p>  <p>乾いたタオルで車を拭きます。</p>

よくある質問

不具合	解決方法
先端から水が漏れたり、突然強く噴射される	ノズルが詰まっている可能性があります。詰まりを解消するか、新しいノズルに交換して下さい。
電源を切っても、ホースから水が流れ出る	本製品の電源を切った後、ホース内の水を完全に抜いてから保管してください。
スプレーボトルからクリーナーが出てこない	スプレーボトルの目詰まりの可能性があります。水で一度洗浄してください。
水が吐出されない、もしくは噴射が弱い	洗浄器本体を水面から高さ 1.5m 以下に下げて水圧を調節してください。 給水ホース先端のフィルターが詰まっていて、フィルターを取り出してゴミを掃除してください。 洗浄器本体とホースキャップの接続が緩い、一度取り付け直してから使用してください。 給水ホースなどの付属品が凍結している場合は、室温に戻してからご使用ください 可変ノズルアタッチメントが損傷していないか確認する
本製品が起動しない、もしくは途中で作動が停止する	マルチバッテリーが設置されているか確認し、電池切れや故障の場合は充電するか新しいものと交換してください。 長時間の連続稼働により、本体内部のモーター過熱防止装置がモーターの温度と電圧に反応し、自動的にモーターを停止し保護します。しばらくしてから再起動をしてください。

注意事項

以下の警告と注意事項を守らないと、人や物に損害を与える恐れがあるので、よくお読みください。

1. 噴射を人や体の一部に直接当てないでください。
2. 電気部品を含む機器に直接水をかけないでください。
3. 製品の安全性を確保するため、付属品は弊社が提供するものを使用してください。
4. 使用後のメンテナンスを実施する前に、マルチバッテリーの接続を取り外してから行ってください。
5. 電源が入っているときは、洗浄機をお子様の手の届かないところに置いてください。
6. 洗浄機を誤って床に落とし、破損や漏れが生じた場合は使用を中止してください。
7. マルチバッテリーと接続している間は、洗浄機を放置しないでください。
8. 本製品は直射日光を避けて必ず付属のバッグの中にしまい、トランクの中もしくは室内に保管してください。
9. 電源は必ず付属のケーブルをご使用ください。紛失された際には弊社までご連絡ください。
10. 異音異臭がするなど異常を感じたときは、すぐに使用を停止してください。
11. 本製品の初回使用時は、給水ホース中の空気抜きを行う必要があります。
12. 保管する前に、本製品と給水ホースから水を完全に抜いてください。
13. お手入れは柔らかいブラシやきれいな布で、本体を拭いてください。水、溶剤、研磨剤などを使用しないでください。
14. 本製品は、安全で乾燥した場所で、子供の手の届かないところに保管してください。
15. 本製品の上に他の物を置かないでください。

リチウムイオン二次電池の取り扱い注意・警告 事項

(1) 電池を乳幼児のそばに放置しない

使用機器及び電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。不用意な取り扱いは危険を伴い、予期せぬ重大な事故を招く恐れがあります。

(2) 電池をペットのそばに放置しない

動物・ペットのそばには、電池を放置しないでください。噛む等によって電池が破損し、発熱、破裂、発火の重大な事故を招く恐れがあります。

(3) 電池が液もれしたら火気から遠ざける

リチウムイオン二次電池が液もれしたり、異臭がした場合は、即座に火気を避け、周囲に可燃物がない場所で様子を見てください。もれた電解液が引火し、爆発や火災の危険性がありますので、安全を確保してください。

(4) 長い時間使用しない時は、電池を機器から取り出す

リチウムイオン二次電池を長期間使用しない場合は、機器の漏れ電流により過放電に至る可能性がありますので、機器から外して湿気の少ないところに保管するか、機器から取り外せない場合は完全に電源を切ってください。

(5) 電池はショート（短絡）させない

電池をネックレスやヘアピン、コイン、鍵などの金属製品と一緒に持ち運んだり保管しないでください。金属は電気を流すため、電池のプラス極とマイナス極に鍵などの金属がふれるとショートして大きな電流が流れ、発熱、破裂、発火、あるいはこれらの金属などが発熱するなどして危険です。

(6) 電池に釘を刺したり、踏みつけたりしない

リチウムイオン二次電池に釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。リチウムイオン二次電池が変形、保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になり大変危険です。

(7) 電池は充電器や機器に正しく接続する

充電器や機器に接続する時にうまくつながらない場合は無理に接続しないでください。プラス・マイナスを逆に接続すると、リチウムイオン二次電池が逆に充電され、液もれ、発熱、破裂、発火させる原因となります。

(8) 決められた充電器で充電する

充電式電池（二次電池）はプラス、マイナスを間違えず、正しい方法で専用の充電器（チャージャー）を使用して充電してください。専用器以外で充電すると発熱、破裂、発火などの原因になり大変危険です。

(9) 電池を直接電源コンセントやシガレットライターに接続しない

リチウムイオン二次電池は充電器を介さずに直接電源コンセントや自動車のシガレットライターの差込口に接続しないでください。感電したり、高い電圧が加えられることによって過大な電流が流れ、リチウムイオン二次電池を液もれ、発熱、破裂、発火させる原因になり大変危険です。

(10) 使用時間が極端に短くなった電池は使用しない

リチウムイオン二次電池には寿命があります。機器の使用時間が短くなった時は、新しいリチウムイオン二次電池とお取り替えください。

(11) 電池や電池パックは分解、改造はしない

電池や電池パックを分解すると内容物で化学やけどを負ったり、破裂し発火する場合があります。また改造すると危険を防ぐ機能が損なわれ、破裂、発熱、発火する原因となります。

(12) 電池に直接ハンダ付けしない

電池の端子に直接ハンダ付けしないでください。熱により絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構が損傷し、発熱、破裂、発火の原因になり大変危険です。

(13) 電池や電池パックの模造品（改造品）は危険です

充電式電池（二次電池）などは電池メーカーが生産・販売している純正品を使用してください。模造品（改造品）には危険防止のための安全装置が傷んだり、なかったりするものがあります。発熱、破裂、発火したりして危険ですので使用しないでください。製造メーカー名や販売会社名などの表示や注意書きのない電池や電池パックは模造品（改造品）の疑いがあります。購入には十分注意してください。

(14) 電池は火中に投入しない

電池を火中に投入すると、破裂や発火し非常に危険です。また、電池を加熱すると、液もれ、破裂、発火などが起こり大変危険です。

(15) 電池を電子レンジなどに入れない

電池を電子レンジに入れたり、電磁調理器の上に置かないでください。誤って加熱され、発熱、破裂、発火などが起こり大変危険です。

(16) 電池や電池パックは濡らさない

電池を水、海水、ジュースなどの液体で濡らさないでください。リチウムイオン二次電池に組み込まれている保護回路が壊れ、発熱、破裂、発火の原因になります。

(17) 電池や電池パックに強い衝撃を加えない

電池に高所からの落下など強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。リチウムイオン二次電池が変形したり、リチウムイオン二次電池に組み込まれている保護機構が壊れ、発熱、破裂、発火などの重大な事故を招く恐れがあります。

(18) 電池を高温になる場所に放置しない

ストーブのそば、炎天下の自動車の車内など高温になる場所に放置しないでください。液もれ、発熱、破裂、発火などの重大な事故を招く恐れがあります。

(19) 電池の異常に気づいたら使用を中止する

電池の異臭、発熱、変色、変形、その他今までと異なることに気づいた時は、ただちに使用を中止してください。そのまま使い続けると電池が発熱、破裂、発火などの重大な事故を招く恐れがあります。

(20) 膨れた電池を無理やり機器に装着しない

膨れた電池を無理に取り付けしないで下さい。リチウムイオン二次電池が変形し、電池内部や組み込まれている保護機構が壊れ、そのまま使い続けると、発熱、破裂、発火の恐れがあり大変危険です。

(21) 熱がこもる場所でのリチウムイオン二次電池の充電はしない

リチウムイオン二次電池の充電中は毛布などで覆わないでください。電池が異常にあたためられ発熱、発火の原因になり、最悪毛布などが燃える恐れがあります。

(22) 電池は高温になる場所での充電はしない

ストーブのそば、炎天下の自動車の車内など高温になる場所で充電しないでください。液もれ、発熱、破裂、発火などの重大な事故を招く恐れがあります。